

pickup news

有珠山火山噴火防災訓練

スマホで体験 新しい避難のカタチ



有 珠山火山噴火防災訓練が9月26日、行われました。避難者が、自身のスマートフォンを使って一時集合場所の避難受付を行う実証実験を初めて実施。IT（情報技術）を活用した新たな避難の方法を探りました。

訓練は有珠山の山頂噴火を想定。洞爺湖温泉地区のほか本町、高砂町、入江、泉を中心に行われました。計16カ所の一時集合場所に職員が待機、訪れた避難者を受け入れるまでの流れを確認しました。

これまでは紙の受付用紙に記入して避難状況を管理していましたが、今回からスマートフォンも使用。災害対策本部では、従来より避難状況を効率的に把握できるよう、受け付けた情報の管理などを検証しました。

今回は一時集合場所です。135人、自宅からスマートフォンを使って45人が参加。下道英明町長は「避難所運営を迅速化し、誰一人取り残さない防災体制を目指す」と講評しました。

ワンポイント 手話

毎月、職員が今月の手話を紹介します。

第81回目は上下水道課職員です。

■問合せ 健康福祉課福祉支援係 ☎ 76-4006

「情報」



開いた右手を外側に向けて、5本の指をすぼめながら2回、耳に引き寄せます。